

# 未来につなごう摩周の水と 星と命の煌めきを

第31回「星空の街・あおぞらの街全国大会」in弟子屈町

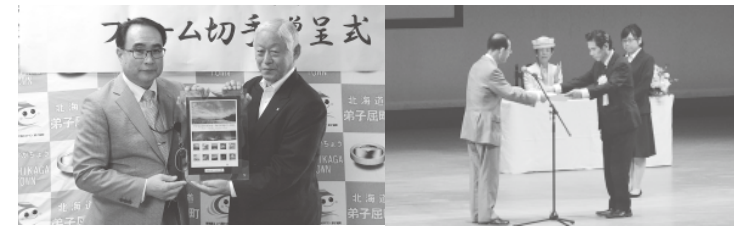


全国協議会会長の徳永町長によるあいさつ

環境省主催による「第31回星空の街・あおぞらの街」全国大会in弟子屈町が8月3日、摩周観光文化センターで開催され、町民や全国からの関係者300人が参加しました。

この大会は、大気環境の保全に対する意識を高めること、郷土の環境を活かした地域おこしの推進を目的に毎年開催され、北海道では3回目となります。

今回は、「未来につなごう摩周の水と星と命の煌めきを」をテーマに開催。歓迎アトラクションとして、川湯ばやし、弟子屈小・中・高校生による星をテーマにした合同演奏を披露しました。



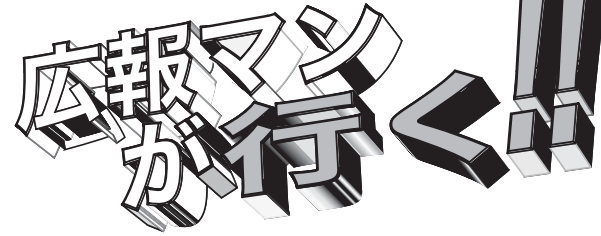
大会を記念したフレーム切手も販売（左）  
中嶋社長が表彰状を受ける（右）

高宮宮妃殿下のご臨席の中、環境保全に優れた活動への表彰では、町内から、㈱ツーリズムでしかが（代表取締役社長 中嶋康雄）が、環境大臣賞（団体）を受賞しました。

星空観察報告会では、和琴小学校、てしかがえこまち推進協議会、㈱ツーリズムでしかがが報告。和琴小学校の児童7人は、2月に行われた観察会について元気よく発表しました。

記念講演では、当町出身のインターステラテクノロジズ（株）推進エンジニアの金井竜一朗さんの講演が行われました。

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させていただきます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 482-2913 (課直通)

7月22日

## 郵便局員が月に一度訪問 ふるさと納税の返礼品に「見守りサービス」



協定書を手取り藤原局長（右）

町のふるさと納税への返礼品として、郵便局の見守りサービスが追加され、サービス提供に関する協定の締結式が7月22日、町役場で行われました。

この見守りサービスは、離れて暮らす家族のために、高齢者などの安否確認などを行う有料サービス。ふるさと納税の額により「みまもり訪問サービス」「みまもりでんわサービス」を返礼品として選ぶことができます。締結式で徳永町長は「町の高齢化率は40%。町全体で見守っていただけるよう取り組みたい」、藤原局長は「町と連携して安心なまちづくりを進めていきたい」とそれぞれ述べていました。

7月23日

## ふるさとの釧路川を豊かに リバープロテクション・21の会がヤマメを放流



無事に大きくなれと願いを込めて

釧路・リバープロテクション・21の会（上田光夫会長）によるヤマメの稚魚の放流が7月23日、摩周温泉公園の釧路川護岸で行われました。

魚類資源の回復のために毎年行っているもので、釧路開発建設部釧路河川事務所や町、会員など関係者約40人が参加。こども園ましゅう（鈴木幸榮園長）33人と、弟子屈小学校（中原英雄校長）の2年生28人も招待され、ヤマメの稚魚1,200匹を放流しました。

7月23日

## 地域に支えられてケア・サポートまつやまが10周年 川湯温泉まち自治会に事業助成金を寄贈



助成金を寄贈する松山代表取締役（左から2人目、右から2人目）

会社創立10周年を迎えた㈱ケア・サポートまつやま（代表取締役松山裕一）が7月23日、川湯温泉まち自治会（大浦健一会長）に

事業助成金10万円を寄贈しました。

㈱ケア・サポートまつやまが創業10周年を迎えたことから、いままで支えてもらった地域の皆さんに感謝したいとの思いから行われたもの。

寄贈を受けた大浦会長は「今後の自治会活動に活用していきたい」と感謝の言葉を述べていました。

7月23日

## 特殊詐欺・飲酒運転の防止を呼びかけ 「かもめ〜」啓発はがき配達



関係者に見送られ出発

弟子屈郵便局と弟子屈警察署が主催する「特殊詐欺・飲酒運転撲滅かもめ〜」の配達出発式が7月23日、弟子屈郵便局車庫前で行われました。

悲惨な事故を起こしている「飲酒運転」と、多発する「特殊詐欺」の防止に向けた啓発を図るためのもので、今年で6年目。今年も町内の20の団体や企業が協賛しています。出発式には関係者約20人が参列。協賛団体の代表者がはがきを集配担当局員に手渡し、受け取った局員たちは安全唱和を行った後、参列者に見送られながら配達に出発しました。

7月23日

## 税金の役割・必要性を考える 租税教室を開催 | 弟子屈高校



グループで税の負担を検討

弟子屈高校（宮崎円校長）で7月23日、租税教室が開催され、1年生27人が参加しました。この教室は、税の意義や

役割を正しく理解し、税に対する理解を深めるために開催されたもので、講師には水口喜恵税理士事務所（釧路市）の水口喜恵税理士が招かれ、講座とグループ討議が行われました。

講義では税金は私たちの生活を支えるものであることなどを学び、グループ討議ではグループに分かれ年収別に税金の負担額などを検討しました。生徒はこの講義を参考に「税に関する高校生の作文」を作成し応募を予定しています。



## 町の話題

## 町の話題

# さまざまな体験を通して

第1回「夏休み二日間の合宿」



泉の湯で正しく銭湯に入るぞ！



クロスカントリーコースを散策し観察 2日間がんばるぞ！

弟子屈町未来子ども協議会（目黒厚子会長）主催の「夏休み二日間の合宿」が、8月7〜8日に行われました。

昨年まで行われていた自転車でのアドベンチャーツーリングに代わり、新たに開催されたもので、町内の子どもたちを対象に、さまざまな体験を通して社会性や自立性、協調性などを養い、人に対する思いやりの心や豊かな心を育み、郷土に対する関心と理解を深めるため、年3回の体験活動を行います。

今回は、釧路温泉桜町会館と桜丘キャンプ場を中心に「夏休み二日間の合宿」を開催。小学生11人が参加しました。

7日には、桜丘キャンプ場のクロスカントリーコースを散策。その後、亀の湯に行き、講師の藤原俊和さんから正しい銭湯の入り方を学び、泉の湯で実践。夕食後はスイカ割りや花火を楽しみました。

8日にはパークゴルフを体験。講師にパークゴルフ協会の野田彰会長、柏倉三太郎さん、柏倉征子さん、豊田麻美さんを迎え、3チームに分かれて体験しました。最後にはお世話になった会館を掃除して合宿を終えました。

合宿中はさまざまな体験を通し、年代の違う仲間との過ごし方や社会でのルールなどを学ぶ貴重な機会となりました。



7月28日

### 親子で作品づくり 夏休み親子トンカチ広場を開催



町主催による『夏休み親子トンカチ広場』が7月28日、町林業多目的センターにおいて開催されました。当日は子ども16人、大人12人、あわせて28人が参加し、親子での夏休みの思い出として、また自由研究の作品として熱心に作品を作っていました。作品制作では大人も真剣に作業しており、子どもたちは楽しみながら上手にノコギリやカナヅチを使っていました。

町主催による『夏休み親子トンカチ広場』が7月28日、町林業多目的センターにおいて開催されました。

当日は子ども16

人、大人12人、あわせて28人が参加し、親子での夏休みの思い出として、また自由研究の作品として熱心に作品を作っていました。

作品制作では大人も真剣に作業しており、子どもたちは楽しみながら上手にノコギリやカナヅチを使っていました。

8月4日

### 歩行者天国と音楽イベントで地域おこし 若者が企画したサマージャック弟子屈



多くの人でにぎわった会場

サマージャック弟子屈（同実行委員会主催）が8月4日、中央通商店街で開催されました。まちのにぎわいを取り戻したいと、上村剛志実行委員長をはじめとした町内の有志が企画したもので、昨年に引き続き5回目。さまざまな出店が通りを埋めたほか、多彩なイベントや弟子屈小学校吹奏楽少年団、弟子屈中学校吹奏楽部、PLバントワラー弟子屈教室、I&Mバトンスタジオの皆さんの発表が行われました。今年は花火もあがり、特設ステージでは、国内の第一線で活躍するレゲエ歌手の皆さんなどの公演も行われました。

サマージャック弟子屈（同実行委員会主催）が8月4日、中央通商店街で開催されました。

まちのにぎわい

を取り戻したいと、上村剛志実行委員長をはじめとした町内の有志が企画したもので、昨年に引き続き5回目。さまざまな出店が通りを埋めたほか、多彩なイベントや弟子屈小学校吹奏楽少年団、弟子屈中学校吹奏楽部、PLバントワラー弟子屈教室、I&Mバトンスタジオの皆さんの発表が行われました。今年は花火もあがり、特設ステージでは、国内の第一線で活躍するレゲエ歌手の皆さんなどの公演も行われました。

7月25日

### 平和の尊さを忘れない 戦没者追悼式で誓いを新たに



献花を行う参列者

令和元年度弟子屈町戦没者追悼式が7月25日、町社会老人福祉センター大集会室で行われました。毎年この日に、遺族や関係者が集まり行われています。約70人が参列し、一人ひとりが献花・黙とうをささげました。徳永町長は「戦争について語られることも少なくなり、平和の尊さが忘れられようとしている今日、遺族の皆さまと共に追悼式を挙行出来ることは誠に意義深い。ふるさと弟子屈を離れ、戦禍に倒れた御霊に哀悼の誠をささげる」と式辞を述べました。

令和元年度弟子屈町戦没者追悼式が7月25日、町社会老人福祉センター大集会室で行われました。

毎年この日に、遺族

や関係者が集まり行われています。約70人が参列し、一人ひとりが献花・黙とうをささげました。徳永町長は「戦争について語られることも少なくなり、平和の尊さが忘れられようとしている今日、遺族の皆さまと共に追悼式を挙行出来ることは誠に意義深い。ふるさと弟子屈を離れ、戦禍に倒れた御霊に哀悼の誠をささげる」と式辞を述べました。

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

8月11日

### 夏の屈斜路湖で遠泳に挑戦 屈斜路オープンウォータースイミング大会を開催



第2回屈斜路湖オープンウォータースイミング大会（屈斜路OWS実行委員会主催）が8月11日、屈斜路湖畔、和琴半島キャンプ場近くで開催されました。オープンウォータースイミングとは、自然の海や湖・川などで行われるレースの総称で、今回から全国17カ所を転戦する全日本水泳連盟公認大会となりました。道内外から集まった137人の選手たちは、400mから5kmまで、距離別、男女別、年齢別で18種目を行いました。選手それぞれの目標に向かい懸命に泳いでいました。

第2回屈斜路湖オープンウォータースイミング大会（屈斜路OWS実行委員会主催）が8月11日、屈斜路湖畔、和琴半島キャンプ場近くで開催されました。

懸命な泳ぎでゴールを目指す

8月8日

### 利用者に安全に利用してほしい 町内2キャンプ地で防犯啓発活動



利用客に啓発品を手渡し呼びかけ

令和元年度キャンプ地合同巡回パトロールが8月8日、砂湯キャンプ場と和琴キャンプ場で行われました。キャンプ地の安全な利用を呼びかけるため、利用客の増えるこの時期に毎年行われています。当日は7つの関係団体から合わせて約20人が参加。和琴と砂湯の二手に分かれ巡回をしながら、それぞれのキャンプ場の利用者に啓発品を手渡しました。

令和元年度キャンプ地合同巡回パトロールが8月8日、砂湯キャンプ場と和琴キャンプ場で行われました。

利用客に啓発品を手渡し呼びかけ

キャンプ地の安全な利用を呼びかけるため、利用客の増えるこの時期に毎年行われています。当日は7つの関係団体から合わせて約20人が参加。和琴と砂湯の二手に分かれ巡回をしながら、それぞれのキャンプ場の利用者に啓発品を手渡しました。

7月26日

### 今年の糖度も十分 摩周メロン豊穡祭で出荷開始を祝う



出荷を祝ってメロンカット

摩周メロン生産組合（藤田重太郎組合長）の「豊穡祭」が7月26日、町農産物集出荷センターで行われました。豊穡祭では、望月摩周湖農業協同組合専務と藤原弟子屈郵便局長、吉備津副町長がメロンカットを行い、摩周メロンの出荷開始を祝いました。摩周メロンは同組合の8戸の農家が生産。同センターと摩周湖農協、道の駅「摩周温泉」、郵便局の「ふるさと小包」と、町のふるさと納税の返礼品だけの取り扱いで市場にはほとんど出回らないため、幻のメロンとも言われています。今年は天候にも恵まれ、糖度は十分。およそ2万玉が順次出荷されます。

摩周メロン生産組合（藤田重太郎組合長）の「豊穡祭」が7月26日、町農産物集出荷センターで行われました。豊穡祭では、望月摩周湖農業協同組合専務と藤原弟子屈郵便局長、吉備津副町長がメロンカットを行い、摩周メロンの出荷開始を祝いました。摩周メロンは同組合の8戸の農家が生産。同センターと摩周湖農協、道の駅「摩周温泉」、郵便局の「ふるさと小包」と、町のふるさと納税の返礼品だけの取り扱いで市場にはほとんど出回らないため、幻のメロンとも言われています。今年は天候にも恵まれ、糖度は十分。およそ2万玉が順次出荷されます。

7月25日

### 思いやりの気持ちを考える 人権教室を開催 | 弟子屈小



短冊に意見を書いて発表

釧路人権擁護委員協議会主催の人権教室が7月25日、弟子屈小学校（中原英雄校長）で開催されました。講師に鶴居村人権擁護委員の宇野健二さん、弟子屈町人権擁護委員の日下部真理子さん、芳藤啓順さん、金井典子さんを迎え、2年生は、DVD教材「みんな友だち」を視聴。5年生は、いじめをなくすために必要なことについてまず考え、その後のグループ学習では話し合いや多数決などで工夫してグループの意見をまとめ、短冊に書いて発表。全体で多かった意見をランキングにし、児童みんなで意見をまとめていました。

釧路人権擁護委員協議会主催の人権教室が7月25日、弟子屈小学校（中原英雄校長）で開催されました。講師に鶴居村人権擁護委員の宇野健二さん、弟子屈町人権擁護委員の日下部真理子さん、芳藤啓順さん、金井典子さんを迎え、2年生は、DVD教材「みんな友だち」を視聴。5年生は、いじめをなくすために必要なことについてまず考え、その後のグループ学習では話し合いや多数決などで工夫してグループの意見をまとめ、短冊に書いて発表。全体で多かった意見をランキングにし、児童みんなで意見をまとめていました。

短冊に意見を書いて発表

8月19日

### ご結婚おめでとうございます！ 町農業後継者結婚祝金贈呈式を挙



弟子屈町農業後継者結婚祝金の贈呈式が8月19日、町応接室で行われました。お祝いを受け取ったのは、小洞 康直郎さん、美咲さんご夫婦（屈斜路）です。贈呈式には、徳永町長、町農業委員会塩沢稔宏会長、摩周湖農業協同組合川口覚組合長が出席。ご夫婦には祝金3万円と祝品のデジタルフォトフレームを贈呈したほか、若い夫婦の前途を祝しお祝いの言葉が贈られました。小洞さんは「町や農協、いろいろな方にお世話になり感謝しています。まだまだ未熟ですが、しっかりと自分たちの役割を全うしていきたい」と話していました。

弟子屈町農業後継者結婚祝金の贈呈式が8月19日、町応接室で行われました。お祝いを受け取ったのは、小洞 康直郎さん、美咲さんご夫婦（屈斜路）です。贈呈式には、徳永町長、町農業委員会塩沢稔宏会長、摩周湖農業協同組合川口覚組合長が出席。ご夫婦には祝金3万円と祝品のデジタルフォトフレームを贈呈したほか、若い夫婦の前途を祝しお祝いの言葉が贈られました。小洞さんは「町や農協、いろいろな方にお世話になり感謝しています。まだまだ未熟ですが、しっかりと自分たちの役割を全うしていきたい」と話していました。

若い夫婦の前途を祝して

8月14日

### 世代を超えた交流会 第3回世代間交流盆踊り大会を開催



世代を超えて輪になって

町老人クラブ連合会（竹内勲会長）が主催の第3回世代間交流盆踊り大会が8月14日、社会老人福祉センターで行われました。同連合会から約70人と、町内の放課後児童クラブからおよそ40人の子どもたちが参加し、盛大に開催されました。子どもたちは会場中央に組まれたやぐらを囲んで北海盆踊りや子ども盆踊りなどを踊り、わからない時は同連合会の方々のお手本を見ながら一生懸命踊りました。その他にも太鼓演奏体験や仮装盆踊りが実施され、大人も子どもも輪になって盆踊りを楽しみ、世代間の交流を深めました。

町老人クラブ連合会（竹内勲会長）が主催の第3回世代間交流盆踊り大会が8月14日、社会老人福祉センターで行われました。同連合会から約70人と、町内の放課後児童クラブからおよそ40人の子どもたちが参加し、盛大に開催されました。子どもたちは会場中央に組まれたやぐらを囲んで北海盆踊りや子ども盆踊りなどを踊り、わからない時は同連合会の方々のお手本を見ながら一生懸命踊りました。その他にも太鼓演奏体験や仮装盆踊りが実施され、大人も子どもも輪になって盆踊りを楽しみ、世代間の交流を深めました。

世代を超えて輪になって

同連合会から約70人と、町内の放課後児童クラブからおよそ40人の子どもたちが参加し、盛大に開催されました。子どもたちは会場中央に組まれたやぐらを囲んで北海盆踊りや子ども盆踊りなどを踊り、わからない時は同連合会の方々のお手本を見ながら一生懸命踊りました。その他にも太鼓演奏体験や仮装盆踊りが実施され、大人も子どもも輪になって盆踊りを楽しみ、世代間の交流を深めました。

7月26日～8月22日

### 弟子屈高校の魅力のひとつに 弟子屈町公営塾を開設



この日は3人が学習

町では、弟子屈高校の生徒を対象にした公営塾を開講し、その開講式が7月26日、高栄会館で行われました。この公営塾は、弟子屈高校の魅力のひとつとして、生徒の学力向上を無料で支援する取り組みで、生徒の希望進路に合わせてタブレット端末などを使い、個別指導を行います。運営は、学習塾などの教育事業を全国展開する(株)Birth（バース）47が運営し、初年度は夏期・冬期休暇に開校します。指導する同社の大山さんは「受講者39人の個々の学習情報を高校と共有し、しっかりと連携し指導できるのが魅力」と話していました。

町では、弟子屈高校の生徒を対象にした公営塾を開講し、その開講式が7月26日、高栄会館で行われました。この公営塾は、弟子屈高校の魅力のひとつとして、生徒の学力向上を無料で支援する取り組みで、生徒の希望進路に合わせてタブレット端末などを使い、個別指導を行います。運営は、学習塾などの教育事業を全国展開する(株)Birth（バース）47が運営し、初年度は夏期・冬期休暇に開校します。指導する同社の大山さんは「受講者39人の個々の学習情報を高校と共有し、しっかりと連携し指導できるのが魅力」と話していました。

7月26日

### 入所者の皆さんと夏を満喫 老人ホーム倅和園で「倅和園祭」を開催



射的で楽しく

老人ホーム倅和園で7月26日、「倅和園祭」が園内で行われました。入所者の皆さんにお祭りの雰囲気を楽しんでもらいたいと、家族会と職員が中心となり、毎年行われています。入所者と関係者合わせて90人ほどが参加しました。お祭りでは、お好み焼き、焼きそば、フランクフルト、いも団子、キュウリ一本漬け、フルーツポンチなど、たくさんの食事と、輪投げ、射的やヨーヨー釣りなどもあり、入所者の方も「お祭りのようでとても楽しい」と笑顔で話していました。

老人ホーム倅和園で7月26日、「倅和園祭」が園内で行われました。入所者の皆さんにお祭りの雰囲気を楽しんでもらいたいと、家族会と職員が中心となり、毎年行われています。入所者と関係者合わせて90人ほどが参加しました。お祭りでは、お好み焼き、焼きそば、フランクフルト、いも団子、キュウリ一本漬け、フルーツポンチなど、たくさんの食事と、輪投げ、射的やヨーヨー釣りなどもあり、入所者の方も「お祭りのようでとても楽しい」と笑顔で話していました。

射的で楽しく